

平和憲法・9条をまもる 岩手の会 ニュース No.57

2010.5.1

発行：平和憲法・9条をまもる

岩手の会 事務局会議

連絡先 県生協連・県消団連

TEL019 - 684 - 2225

FAX019 - 684 - 2227

普天間基地の国外・県外移設を求める



4・25仲縄県民大会 に参加して

急ぎよの決意で、4月25日に開催された「米軍普天間飛行場の早期閉鎖・返還と、移設に反対し、国外・県内移設を求める県民大会」へ参加をした。前泊した那覇市内のホテル近くのバス停から路線バスに乗車し、大会会場に掲げられたアドバルーンを目印にバスを下車して読谷村運動広場に向かって歩いた。会場には、まだリハー

サル中の10時半頃に到着、広々とした会場の大きさと立派な固定のステージ、そしてマスコミ各社の多さに驚いた。

本当にこの広い会場が埋まるほど集まるのだろうか、大会中も幾度となく様子をうかがった。そんな心配をよそに、大会も終わりに近づいているのにやっと会場到着をした住民代表が、あいているスペースに向かって歩いている。主催者から9万人と発表された16時半頃でも大渋滞のため会場に到着できずに向かっているという。集会参加者の規模とともに会場から集まったカンパは500万円を超えた。

15時から開会した大会は女子高校生の司会・進行で行われた。ステージ壇上には知事・県内全ての市町村首長（代理も）県議会議員、国会議員（党首では志位委員長）県・市町村議会議員らが並んだ。仲井真知事の挨拶は、普天間基地移設問題にはふれずに自らの考えを述べるに留まったが、翁長那覇市長、高嶺県議会議員、伊波宜野湾市長、稲嶺名護市長、島袋うるま市長、赤嶺勝連漁協組合長らの決意表明はいずれも迫力あるもので大きな拍手と口笛が幾度なく会場に響いた。普天間高校3年生の女生徒2人による決意表明は、自分たちの思いを素直に表現したしっかりとしたもの、最後に、基地のない沖縄という「未来は自分たちの手の中に」と結んだ。大城沖婦連会長の大会決議提案、仲村連合沖縄会長のガンバロー三唱・閉会挨拶も大会の雰囲気を高めるものとなった。

今回、岩手県革新懇事務局長の加藤さんらとも現地で出会ったが、「世界一危険な飛行場」の早期閉鎖・返還と新たな基地はつくらせないという沖縄県民の心が一つとなった大会に、岩手県民の一人として連帯して参加できた歴史的意義は大きかったと思う。



鈴木 露通（いわて労連議長・憲法改悪反対県共同センター事務局長）

今月の署名行動

G. Wは、お花見ですか？ 盛岡もやっとな桜が咲きましたね。
今月は10日(月) 12:00~12:45に「大通り野村証券前」で行います。是非参加ください！



平和憲法・9条をまもる岩手の会

冬の間はお休みし、4月9日(金)から今年の「9の日」宣伝行動を再開(盛岡・大通り)。チラシを配りながら米軍基地問題や9条について訴え、署名を呼びかけました。「岩手の会」会員や事務局団体から16名が参加し、45分間行動しましたが、専門学校生や昼休みのサラリーマンなど人通りがあった割には署名数が47筆と苦戦・呼びかけの工夫も必要だと実感しました。

平和憲法・9条を守る花巻市民の会

4月17日(土)11時から1時間、イトーヨーカドー花巻店入り口で署名とチラシ配布を実施しました。雪まじり雨が降る寒い日でしたが6名が参加し署名数は61筆、5周年記念講演会のお知らせを入れたチラシは332枚配布できました。

今年度「花巻市民の会」では、6月5日「いのちの山河」再上映会、参院選挙立候補者に「9条に関する質問」等に取り組む予定です。

花巻市民の会5周年記念

太田祖電さん(元沢内村村長)講演会

「旧沢内村の生命行政と憲法25条」

5月8日(土)13:30~

まなび学園(花巻市生涯学園都市会館) 入場無料

各地での署名・宣伝活動の様子をぜひ事務局までお知らせ下さい。

平和憲法・9条をまもる県民過半数署名(目標60万筆)は **28万1424筆**(5月1日現在)

コラム

憲法改正「する」「しない」が同率に!

読売新聞(4/9付)の憲法世論調査では、改正を「する方がよい」と「しない方がよい」が同数となった(「する」が52%から43%に)。「国会で議論すべき」が7割を超えたことを見出しとなり「議論停滞に懸念」と、調査結果からは読み取れない読売の主張が全面に出されている。

9条については、「戦争放棄」は8割、「戦力不保持」は6割近くが「改正の必要はない」としているが、自衛隊の明記は支持を得ている。集団的自衛権については賛否は割れている。これらは、平和と安全を守るためという意識が前提にあるというのが大事な点だと思う。

全体として、「国民が関心を寄せる諸問題の解決には憲法改正が必要だ」という世論は見受けられない。しかし、国民投票法が5月から施行されようとしているし、参議院選挙に向けて改憲勢力の新党立ち上げなど、議論を煽る報道が強まることが予想される。

武力では平和は守れないという事実を示しながら、9条を守ろうとおおいに訴えていくことが必要だ。

(事務局)

NHK 人形劇『ひょっこりひょうたん島』や『吉里吉里人』の作者として有名で、この「9条をまもる岩手の会」呼びかけ人の一人であった井上ひさしさんが4月9日亡くなられました(享年75歳)。体調を壊す直前まで、岩手をはじめ各地で9条守れの講演をするなど、平和を願い意欲的に活動されていました。

事務局としても、心からご冥福をお祈りいたします。